

国際交流のひろば

留学生の日本文化・歴史体験及び地域交流に関する研修

8月9日（金）上越市安塚区等において研修を行い、雪のまちみらい館、和田の雪室、ふれあい昆虫館、雪だるま物産館、前島密記念館、岩の原葡萄園を見学しました。

この研修は、留学生に日本文化・歴史体験及び地域との交流、また日本人学生との交流の機会を提供することを目的に毎年行っています。張鈺さんに感想文を寄せてもらいました。



暑いけど、楽しかった



石蔵の中は涼しいね！

大学院2年 張鈺（中国）

この研修でたくさんの場所を見学した。まず、雪のまちみらい館に行って、その解説員に雪室の仕組みを説明してもらった。そして雪室を見学して、雪室は天然の冷蔵庫であり、たくさんの食品を貯蔵することができることがわかった。夏の今、冬に降った雪を見て不思議に思った。このような資源のリサイクルは本当に環境にやさしい。昼食は留学生と先生方と話をしながらそばを食べた。午後、前島密記念館を訪れ、日本近代郵便の父である前島密の生涯の業績を知った。最後に、岩の原葡萄園に行って、そのスタッフさんが葡萄園とワインの石蔵を案内してくれた。

今回の活動によって、見聞を広めただけでなく、留学生間の友情も深めた。暑い天気でしたが、一日はとても楽しかった。このような機会に感謝します。

短期外国人留学生成果発表会

8月27日（火）13時から人113において、平成30年10月～令和元年9月までの期間、本学協定校から交換留学生として学んでいる6名及び日本語・日本文化研修留学生1名が、1年間の日本での留学生活と本学での学習成果について発表しました。発表後、国立嘉義大学からの留学生、謝承志さん(台湾)は「この1年間はいろいろな辛いことも楽しいこともありましたが、最後に皆と一緒に発表できて良かった。上教大の先生や先輩に感謝しています。」と感想を話しました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）